

1. 件 名：原燃輸送株式会社による核燃料輸送物設計承認申請に関する面談
(1)
2. 日 時：令和5年3月8日(水) 13時30分～14時05分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議システムを利用)
4. 出席者：(※はTV会議システムによる出席)：
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査官、真下安全審査専門職
原燃輸送株式会社
設計・開発部長 他4名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. その他：
なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい規制庁の真下です。これからR A S株式会社の確認設備設計承認申請に係る面談を開始します。まず、開示情報の発令に注意をしてください。
0:00:11	不開示情報を発令してしまった場合にはその場でその旨を指摘してください。
0:00:16	方を始める前には、所属と氏名を述べてから発言を廃止してください。
0:00:20	使用しないときのマークについては水田にするようお願いします。
0:00:24	それでは、本日の
0:00:27	面談の概要、輸送物の概要と、あと、
0:00:33	相談したいと思っている事項について、眠そうの方から説明をお願いします。
0:00:41	はい。
0:00:43	入って、現在輸送のマツモトでございます。
0:00:48	はい。今日ご相談したいですねよそ曜日については、N f t 準備型の磯沖といいまして、使用済み燃料を、
0:00:59	原子力発電所から最終工場に運ぶための輸送容器の、
0:01:05	審査、使用済み燃料輸送容器という申請になります。本日、合わせてですねこの14P型の申請時期に関しまして、
0:01:18	ご説明さしていただいて、相談をさしていただきたいということでございます。
0:01:25	ご存知のようにし、今申し上げたように再処理工場への輸送用に使用する輸送容器ということで、
0:01:35	再処理工場の竣工のスケジュールが
0:01:40	ありますが、それに合わせてですね郵送容器の
0:01:46	許認可の申請をですねさしていただきたいと。
0:01:50	この竣工以降ですね、我々としても確実に使用済み燃料を輸送できると、というような状態にし、
0:02:00	しておきたいと、その準備をしておきたいということでスケジュールを今立ててございます。
0:02:07	今回そのスケジュールがですね2023年の上半期の早いうちにというふうになってるかと思いますが、
0:02:18	それよりもA約1年ほど前ですが、今の時期に申請をさしていただきたいというスケジュールになりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	それにつきましては、設計承認でそのあとですね、この要件については岩礁隊のですね新規の製造を考えていると。
0:02:36	ということでございます。なので設計承認をいただいた後に、緩衝体ですねこの製造2約ですね1年弱かかる。
0:02:47	ような見込みとなっております。この製造設計書にそれから製造終えて、そのあと容器承認申請をさしていただいて、
0:02:57	2024年度の上半期採取工場の竣工に合わせるような形で、許認可の準備を、をさしていただきたいというようなスケジュールリングを、
0:03:10	考えてございます。そのスケジュールから、4月上旬にですね、できれば、申請をさしていただきたいと。
0:03:19	というような工程を考えてるという状況でございます。
0:03:25	これについてですねご意見をいただければ、ご相談をさせていただきたいということでございます。
0:03:32	はい。説明としては以上でございます。
0:03:37	はい。規制庁の真下です。はい、ありがとうございます。
0:03:42	ご相談内容としては、
0:03:45	それと、
0:03:48	4月、ちょっと他のところの事情を踏まえてですね、スケジュールからいうと
0:03:56	来月にも、もう申請したいのでよろしいかという話なんでしょうか。
0:04:03	はい、そうでございます。
0:04:13	規制庁の真下です。一応、
0:04:17	そうですね。
0:04:21	新規ですのでスケジュール等の話でいうと、こちらがいえるのは規則が改正されたので、
0:04:30	その改正規則に踏まえて、すでにN f T M4 P M10Dを申請されてますけれども、その時、ヒアリングとですね、
0:04:42	質問されたり指摘されたりとしたことについてその内容をきちんと理解した上で、申請書を作ってもらいたいと、いうことと、あと、審査会合が、
0:04:54	あるかもしれませんので、その場合には、
0:04:58	次、資料等を事前作成していただければというぐらいかと思います。
0:05:08	その他、
0:05:09	例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:14	さっきのその申請等を踏まえた上で、
0:05:17	何か相談等あればお願いします。
0:05:21	えーとですね、原電の松本でございます今野マシモさんから説明。
0:05:26	いただいたようにですね我々もですね今回の申請は、が、事業所外運搬規則が2年前ですか、改正されてますのでそれに基づく対応が主なものの。
0:05:39	なります。従って背高経年劣化の考慮の必要性ですね0勝o fという形で、
0:05:47	追加させていただいております。これにつきましてはご指摘いただいたように先行して、今、
0:05:56	教授が承認いただいたN f T M型ですね、先行審査事例を踏まえた上で、F小の方は、S P A R Tよろしいですか負傷の方を、
0:06:09	検討してございます。それで今回につきましては野呂小Fの方で、
0:06:18	ですね弁護士審査と同じようにですね主要量定期間それから、
0:06:26	図示を予定、杯数ですね、と合わせて
0:06:31	劣化のホールの必要性のところですねそこのところを、主に5市
0:06:39	ご説明させていただくということになると思っております。あともう一つあわせて、この準備につきましては過去の類似設計の輸送容器がございましたので、
0:06:50	あそこの時も承認とですね、掃除すると。
0:06:55	につきましてはご審査も併せてお願いしたいというような状況でございます。
0:07:01	はい。
0:07:02	私の方から以上です。
0:07:04	規制庁真下ですありがとうございます。
0:07:08	本当。
0:07:10	そうですね。
0:07:13	あまり、
0:07:17	一応その懸念、イメージ、周辺のこれのイメージなんですけれども、
0:07:22	すでに四国電力の方で例えばお茶カスクの承認等ありましたけれども、スレート。
0:07:33	して変化の考慮があるとすればあそこで、
0:07:37	抽出されている事項等、同じようなものがあると見てよろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:47	すごい
0:07:48	あれ、はい。
0:07:49	原電の松本でございます。
0:07:52	ですね、今ご指摘の、四国電力数ですね申請も使用済み燃料の輸送容器輸送貯蔵兼用キャスクの輸送容器と、
0:08:02	思います内容的にはですね、同じような内容になっていますが、
0:08:07	なってます。使用予定。
0:08:10	期間は同じ 60 年ですが使用予定回数についてはこの輸送要求の場合、これあれですね。
0:08:17	疲労評価につきましては、ね、共用繰り返し回数がございますしてそれから設定される値以下でええよ。
0:08:29	よって、変えよ停止しますと、というような旨の
0:08:34	評価になってましてその辺りはですね何回の何かゆ何年何回の何十年輸送とそこはちょっと違っております。これ疲労評価のところで違った表記をしております。
0:08:46	というのが、そういう例として 1 点目です。それからあと経年劣化の考慮の必要性のところにつきましては、
0:08:54	ここもですねあと車、家検討の結果ですね、私ども今まとめてる状態は、1 種遮へい評価ですね遮へい表。
0:09:05	もう俺神野。
0:09:08	熱による経年変化の減損というところの評価に出してございます。ただし、このレジンの減損につきましても、この減損が水で生じますので、
0:09:21	今、影響が影響があるであろうと思われるところにつきまして、これはですね水分による注射体部の圧力上昇。
0:09:31	これについては、別表が影響を考慮するという事で構造解析の方に評価をしているというような状況です。遮へい解析についてはこれは四国さんとちょっと異なりますが、
0:09:45	水野、水口んですね、エンジンの
0:09:51	題材の減損、これ一の影響はですねさほど大きくないので、今のところ銅賞を F の中で、影響が、その津波は大きな、大きくないですという旨のまとめ方をしております。
0:10:06	大体総論で同じなんですけど今申し、申し上げたような予定回数とそれからレジンの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:13	経年劣化へ、考慮の評価、このところが相違はしているという状況です。はい。
0:10:20	以上です。
0:10:26	規制庁の橋場です。ありがとうございます。
0:10:29	ちなみに四国電力では窃盗についてもいろいろ書かれ、書いてましたけども、あれは関係はないってことですよね。
0:10:38	懸念の話ですね、原燃輸送の松元です。この準備型につきましてはバスケットにアルミ材を使ってごさいませんのでこの日安くとしては該当してごさいません。
0:10:49	以上です。規制庁マシモですはいありがとうございます。こっから規制庁側から何かあれば、
0:10:57	規制庁の井坂です。
0:10:59	冒頭にですね、20、2024年度上半期に再処理工場が竣工して、そのこの輸送に実はマニュアルスタイルでちょっとお話ありましたが、
0:11:11	今回再処理工場のいわゆる竣工をめぐっては、かなり世の中の注目とかちょっと浴びてるっていう状況もありまして、
0:11:21	おそらく、
0:11:22	今回、申請にあたって、どれだけ使用するかとかその期間とか運搬回数、そういった情報がですね、
0:11:31	何か独り歩きをするようなこととか、そういうことがないように、入試とか関係者の方、多分よく協議を調整して、出す情報とか、そういったものを、
0:11:43	慎重に検討いただきたいと思いますけどよろしいでしょうか。
0:11:50	はい。いえ、原燃の松本でございます。はいご指摘の通りだと思いますので、
0:11:57	我々としては、先ほど申し上げた要望進行に合わせて準備を整えておきたいということで具体的なですね、そういう計画につきましては、今おっしゃられたような、関係者投与して連携させていただいて、
0:12:09	情報発信等をさせていただければと思っています。
0:12:13	承知いたしました。以上です。ありがとうございます。
0:12:17	いいですかね。はい。
0:12:20	あ、
0:12:21	あすいません、規制庁の方ですけども、
0:12:24	ですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:28	ちょっとやっぱこちらもレジンがちょっと論点になるかなというようにはちょっと感じてます。というのは、もともと非常に発電所が高く、
0:12:38	レジの温度も、約 30 年前のいろんなことがございましたので、
0:12:46	島だからその辺で、今の貯蔵キャスク食う等と言われてる温度よりも、1010 度から 15 度ぐらい高いんじゃないかなという感じがしてますんで、
0:12:59	当然先ほどちょっと松元さんおっしゃってた、さほどの影響はということとはそれはもちろん申請書の中を確認させていただいて、
0:13:12	どうなのかということ、場合によっていろいろ事実確認をさせていただくことになるかと思うんですけども、そのあたりについては、基本的に
0:13:24	今の例えば先ほど李に出ました四国電力等ですね、説明と同様なシナリオを今お考えというふうに認識してよろしいですか。
0:13:40	はい現在そのマツモトです。
0:13:43	ご指摘の例示の現存のところですね考え方評価の方向とかは四国電力さんと、
0:13:52	同じでございます。ご指摘予定の通り、温度とかキャスト比べればですね 14 品の場合は、発熱量も大きくて温度が高いということも、
0:14:03	あります、ありますそれはご指摘の通りですしてその上で評価をさせていただいてますので、内容につきましてはですね、審査、評価をお示した上でご更新。
0:14:16	審査をせんいただきたいというふうに思っています。
0:14:19	4 日以上です。
0:14:22	あともう一つ、
0:14:25	具体的な内容は多分審査のところということになるんですけども、参考までに緩衝体の設計を先ほど見直されたという、
0:14:38	ご発言があったと思うんですけども、
0:14:41	主なる、その通りですかね、背景ともしあれ、可能な限り、可能であれば、ちょっと教えていただければと思います。
0:14:53	はい、原燃松本でございます。
0:14:57	緩衝体につきましてはですね先ほど申し上げたような過去の類似の設計の輸送容器のところでも、県、評価をですね、整理させていただいておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:12	もちろん技術基準に適合しているというのはその通りでございます。その上で、そのあとですね我々としてはすごく落下試験ですねいわゆる実証をですねその現象、落下現象をとらえるために実証、
0:15:26	する落下試験を行いましたがいきました。
0:15:29	なので、ます。
0:15:31	結果を踏まえてですね、その落下、処分益の挙動の信頼性ですね信頼性を上げるために、緩衝体のモーター入り鉄筋のですね改良をしたということでございます。
0:15:46	なので実証させていただいたのでそれを踏まえた形で、改良、設計をですねお示しするということに今回はなるということでございます。はい。以上です。はい、わかりました。
0:15:57	あともう1点なんですけれども、昨今の審査のところ、比較的基本的なところろうについて、
0:16:11	技術基準に対して適合してることの説明を、割ときっちりと求めてる求めて、求めるようにしているのですが、
0:16:24	例えば、一番基本的なところで、温度圧力及び何とかに対して
0:16:34	亀裂破損のないところというところで、結構、一番低い温度から一番高い温度までというふうなところの、上振れた場合の
0:16:47	圧力変化に対してどうだかということもちゃんと評価されてて、もちろん切れちゃう損がないことっていうことは、各事業者とも、
0:16:59	お示しいただいてるという今状況なんですけれども、今回ここ数年で、
0:17:11	N f T型のような、今回のような湿式の容器の申請はなかったということで、あまり議論になることはなかったと思うんですけれども、
0:17:25	確か、特記事項のところに、類似の設計における、
0:17:33	当間安全解析書の中の特記事項のところで、水が凍らない温度とか、
0:17:43	発熱量とかっていうことに関する記述があったように記憶しています。で、
0:17:50	なぜ、要は、例えばマイナス20度からって言ったら、下手したら、中身、発生する風、ゼロっていうことはないんですけれども、
0:18:00	こうしてしまうというところで、その辺の
0:18:05	シナリオについてですね、どのように、具体的にその規則の第六条第1項に対する適合性のところに対して、今どのような方針でお考えかというところを、
0:18:20	今お話が可能な範囲でちょっと教えていただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:28	する。はい。
0:18:30	原燃輸送の野島です。
0:18:33	今、
0:18:35	ご説明いただいた温度圧力に対する件ですけれども、マイナス 20 度から 38 度に持っていても問題ないことを、
0:18:46	4 電さんの S R ですか、M 型の S R と同様に、記載を予定しております。
0:18:55	要は、今までのやつっていうのは、乾式ですから別にそんな気にすることはないんですけども、いわゆる
0:19:05	例えば、このようキーの過去のその安全解析書の内容を確認すると、
0:19:17	そのキャスクの中のね、キャビティの食う技術ってのは確か 15% 程度だったと思うんですけども、
0:19:23	15% だったかな、15% 程度だったと思うんですけども、停止前は当然、何% 変わるとかですね。ええ。
0:19:32	だから 1 割上がるわけですよ。だから
0:19:35	当然スペースは減るといようなことになると思うんですけども、その辺も踏まえてですね、どのような説明のシナリオっていうことを今、
0:19:48	お考えなのかっていうことが、今お話できる範囲で教えていただければ、次申請書来たときに、
0:20:00	こういうことかということになるのかもしれませんが、
0:20:04	出席上のね、特有なことで何か考えられてることはございますか。
0:20:11	はい。原電松本でございます。
0:20:14	布田さんご指摘の通り知識、容器であるということは十分
0:20:20	表考慮しております、特記事項にですね凍結しない運動、凍結しない範囲の収納物の熱量と、
0:20:32	温度との関係も示されているというそれらの値もですね、考慮してですね、評価をしているという状況です。
0:20:42	つまり温度がですね発熱量があれば、凍らない範囲で輸送しますっていうのが特記事項の記名になり、なりますので、その辺りを考慮した形で温度範囲の中で、
0:20:56	キャビティ圧力がどう、どうなるのかということについて、ご説明をさせていただきたいと思っています。はい、わかりました
0:21:04	実際は承認書、申請書の中身を、が当時に確認させていただきます。
0:21:14	そんなところかな。以上です。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:17	すいません。規制庁の丹後ですけれども。
0:21:23	はい。
0:21:25	大丈夫でしょうか。はいよろしくお願ひしますはい。二つあります。です ね。
0:21:32	環境温度が一番低い時、ノー。
0:21:36	評価をするにあたっては、
0:21:38	輸送規則のガイド文書収納の熱量は0、当然それをやるべきだみたいな こと記載があったような気がするんですけれども。
0:21:48	そういったことは、
0:21:52	輸送物ではできないってことでいいんですかね。
0:21:57	それとも、実輸送では、会計発熱量を担保するけれども、
0:22:02	輸送物安全評価上は凍結しても、多分しないみたいなことをどこかに記 載されるということでしょうか。
0:22:13	これが1点目です。2点目はですね、
0:22:17	この郵送物の屋外の温度がどれだけ上がるのかっていうのは今ちょっと 手元にないのでわからないんですけれども、
0:22:26	木材の経年変化に於いて、熱が入ったときに、性能が劣化するのかしな いのかっていうところを、いろいろ審査会合でも話した後に、
0:22:37	業界で経年木材の経年変化の別に開発して、知見を集めますと、対応し ていきますというふうになっている中で、
0:22:47	大体1年ぐらいたつわけですけれども、
0:22:50	当然この輸送物わー木材の経年変化の知見を反映したものが出てくるん ですかねそれと温度が全然関係ないから、
0:23:00	あの辺は向こうでというふうに持ってくるのか、どちらでしょうか。
0:23:06	この2点、まず教えていただけますか。
0:23:28	汗すいませんマツモトマツモトですちょっと持ち合わせ今チェック、整 理してますので、すいません。
0:24:18	すいません規制庁のサンゴですけれども、今回の行政相談の中でこの回 答を入れられないと次のステップに進めないというわけではございませ んので、
0:24:28	先ほど私から確認したかった地点2個、2点の質問、確認事項について は、よくご検討いただいて、会合の場でも説明いただければと思いま す。
0:24:42	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:43	特に本日回答していただかなくても結構です。
0:24:48	すみません原燃松本です。佐賀さん、すみません
0:24:53	はい。よく考えますけれども最初野瀬すみません収納物の0の考慮につきましてはちょっと調べさしていただきたいと思います我々は特記事項の方で、
0:25:04	今申し上げたような制限を、を記してございますので、それらを考慮した評価なのかなと思ってたところがございます。
0:25:15	もう一步も不在のものについてはこれもですね今ご指摘の通り業界で取り組んでいるという状況でございますが、今のところ、いろいろ会議体を作った情報共有をしたりどういう項目をやったりしたらいいかというのは、まだその計画の段階でして、
0:25:32	です。従って今回のあれか、14品の申請についても、木材の温度の現年劣化ですかそのところについては新しい知見が入って反映されたものではないという状況でございます。
0:25:49	以上でございます。はい。すみません。
0:25:57	社長の真下です。はい。ありがとうございます
0:26:00	成長のところ。
0:26:05	はい。では、JNES側からその他質問等あればお願いします。
0:26:13	原燃輸送ノジマです。ちょっと1点、食い違いがあったら後、
0:26:20	困るので確認させていただきたいんですけども、霊前の件なんです
0:26:27	が、
0:26:27	4連3と同じ。
0:26:31	ではなくてですねろうFの方で、
0:26:35	評価した結果、
0:26:39	構造解析レジンから放出される水分による、
0:26:44	中性子遮へい材分の
0:26:46	圧力上昇については考慮していて、
0:26:49	遮へい解析については、影響が少ないことから、
0:26:56	山県と同様にライフで説明すること等としているんですけども、
0:27:02	そのご認識で、
0:27:07	合ってますかね。
0:27:09	9、すみません松本ですけども、私の説明の中でその評価のここが4電さんと同じだというふうに終えたかもしれなくてですね、そのあたりの相違点

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:22	になります。今申し上げたように、圧力の方はろ紙を考慮が必要だということ、評価値を出して、
0:27:29	評価をしてまして、遮へい評価につきましては、影響が少ないだろうという考え方で、道床Dではなくて動詞をFの中で、
0:27:39	その影響について評価させていただいてるところが、米津さんとはちょっとそこは異なるのかなということの再確認でございます。以上です。
0:27:49	すいません。規制庁のホデですけども。
0:27:53	要は、第六条第1項っていうか、第五条第7号とか、第8条で、
0:28:05	適合しているという説明。
0:28:12	に使われる数値は変わらないという、
0:28:16	変えないという、ご趣旨なんでしょうか。要は、
0:28:23	さっきのこれの類似の設計における+遮へい解析の附属書類のところには、
0:28:34	確か、何千時間かの減衰が出て、それが約何%かと。で、その数値見たら、
0:28:44	うん。若干、4電のときの減衰、その現存量よりも大きいということが示されてるということで、
0:28:56	かつ、
0:28:58	もう一つ言うと、
0:29:00	M4PとかM12Bで、
0:29:05	と影響が少ないということを、の所をFでご説明をされて、
0:29:11	あれ、切れて、
0:29:13	されたとされて、ろ紙ろ紙をDの方には、それはもう数字そのままと。ただ、M4PとかM12Bのときの
0:29:30	レジにと、レジのその現存云々に対する影響というのは影響あるけれども、
0:29:36	結局として、要は最高最高差最大線量当量率を与える部位の線量と、
0:29:46	のにおける最大線量当量率に対して感度がなかったから、なしとしていいでしょうという、ご判断でこちらもそういう認識をしています。
0:29:58	ただ、今回の場合は、現存すれば周囲の特に例えば、
0:30:07	洞口なのか、トラニオンのあれなのか、もうちょっとよくわかりませんが、そのあたりの線量当量率というのは明らかに上がると。
0:30:17	いうふうに思いますので、それは6章Dで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:20	前回、
0:30:22	するのが筋ではないかなというふうには、考えてます。ですからその辺、本当に今原燃輸送の方からご説明いただいた内容でいいのかわかっていうことはよく、
0:30:35	お考えいただきたいと思います。もっと言えば、今の法令上それを考えるというふうになってると、当時の仮に何%落ちたときにこの程度だけど、
0:30:49	は何とか満足する見通しがありますよというふうな附属書類の説明っていうのは、ちょっと意味合いが違うと思いますんで、その辺は十分にご検討いただきたいと思います。
0:30:59	以上です。
0:31:03	現年上げねそのマツモトです
0:31:06	皆さんご指摘ありがとうございます。現存量につきましてはですねもう一度よく考えますが下、基本的には減損してもその基準値に対する余裕とかですね。
0:31:19	そういうものでトータルで考えるのかなというところは考えてございました。
0:31:26	それ、そうですね。
0:31:28	その上で
0:31:30	内容としてはですねご指摘の通り、類似の設計で以前をお示ししたように、な構成に今なっております。
0:31:41	圧力については、これは影響が大きいので、当初行くとそれで遮へいについては、その時は附属書という形でしたね。
0:31:48	今のご指摘のような、線量基準値に対する影響設計の余裕については、もう同じでございまして、それを今、Dで0勝Dの附属車ではなくてろ紙をF-5でまとめるのかなと。
0:32:02	ということでご用意はしてございます一つはですね貯蔵キャスク兼用キャスクと、
0:32:08	ちょっと異なるのはこれ、純粋に輸送専用キャスクでして、なかなかその照射さされてる期間ですね今使用予定期間 60 年として、連続照射で、
0:32:20	考えてございますけれども実際の使用頻度を考えると、燃料が入った期間というのは、大分限られてくるっていうところもございまして我々としては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:31	それをトータルに考えて、今ろ紙をFでの評価をご用意しているという ような状況ではございますが、今のご指摘を踏まえてですねもう一度よ く考えてですね、申請の時には、
0:32:45	申請の時に対応させていただきたいと思っております。
0:32:49	以上でございますが、何かご意見あります河辺さん。すいませんで、お 待ちしてます。
0:32:57	栗栖です。
0:33:05	はい、規制庁の橋本です。様々ななか、デンソーから、質問等あればお 願ひします。
0:33:15	原燃の増本です。
0:33:18	今ご指摘いただいた者、レジンのですね者解析のところですねこれから 下検討させていただきますが評価をですねろ紙をDに変更するとき、
0:33:29	内容の精査ですとかチェックですとか、時間的な時間も少しかかるよう な場合には、4月、
0:33:37	今4月上旬の申請ということに申し上げますけれども、また別途申 請スケジュールのご相談をさせていただきたいと思っております。
0:33:45	以上でございます。
0:33:48	清町のサンゴですけれどもよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
0:33:52	4月上旬から連れていって4月の下旬とかになってくると、
0:33:59	表現的というかカレンダーの暦上、ゴールデンウィークとかっていう 長期休館前1週間目、中休みがないんですけども、
0:34:08	申請して、特に休みで何か10日間、時間稼ぎみたいなんかそういうや り方をちょっとさせていただきたいなと思ってるんですけど。
0:34:21	なるほど4月の終わりになって、もうやはり入る直前とかだったら、も う潔く5月にして欲しいなっていうのが、個人的な考え。
0:34:31	これを強制するものではございませんけれども、
0:34:35	その考え方の人はどうなのかなっていうのを、私は今お伝えしまし た。
0:34:42	はい。
0:34:43	はい。K-NETの増本でございます。はい。私どものスケジュールを 考えさせていただいて、
0:34:50	きますので、こちらで必要な時間も、今、即答申し上げられないので、 検討させていただいて、そのあとのスケジュールリングですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:59	ついてもご相談させていただいた上で、また、申請の方で手続きを進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
0:35:10	規制庁の橋場です。はい、ありがとうございます。その他。
0:35:15	曾田。
0:35:16	小木曾加茂なしということでよろしいですか。はい。
0:35:20	それでは本日の面談は、これで終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。
0:35:28	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。